

去る1月18日に、地元インディアナポリス・コルツが出場するNFLのAFCチャンピオンシップがありました。いつもの日曜午後のロビーは、皆宿題をするため部屋にこもっているのが閑散としているのですが、この日ばかりは地元チームのスーパーボウル出場が決まる瞬間を見ようと、たくさんの方がロビーのTVを囲んでいました。試合は終始対戦相手のペイトリオッツのペースで進んでいきました。第2クォーター中盤からロビーには早くも諦めの雰囲気が出て、何人かの学生は部屋に戻ったり、卓球をし始めたりしていました。

結局コルツは負けていましたが、熱狂的に応援する学生たちとのテレビ観戦はかなり楽しめました。ちなみに、翌日の地元紙第一面にはチームカラーにちなんで、"SUPER BLUE"と大きく書かれていました。

今月は以下の2点について報告します。

1. JSA(Japanese Students Association)
2. Internship and Co-op Fair

1. JSA(Japanese Students Association)

ローズ・ハルマンから車で10分ほどダウンタウンへ下ったところにインディアナ州立大学(Indiana State University, 以下ISU)があります。大学のキャンパスはローズ・ハルマンよりもずっと広く、また、キャンパスがダウンタウンにあるため、周辺には飲食店や雑貨屋などたくさんあり、ローズ・ハルマンとはまったく雰囲気が違います。

ローズ・ハルマンとISUは地理的に近いということもあって、お互いにさまざまな交流があります。以前の報告でローズ・ハルマンの図書館(John A. Logan Library)について触れた際、ローズ・ハルマンの学生でもISU所蔵の図書を取り寄せられることを報告しましたが、車を持っている学生は直接インディアナ州立大学へ行って本を借りているようです。

また、サッカーやバスケットボールなど、運動部の練習試合もよく行われています。

ISUにはおよそ60人ほどの日本人留学生在学しており、彼らによってJapanese Student Association(以下JSA)という組織が運営されています。JSAは情報交換と文化交流を目的に2002年10月に立ち上げられました。JSAの会員には、日本人学生はもちろんのこと、日本の文化に興味を持っているほかの国の学生もいます。また、ISUの学生だけでなく、ローズ・ハルマンの学生も何人か会員になっているようです。私はJSAの存在を全く知らなかったのですが、日本語を履修している友達がJSAを紹介してくれて、以来何か企画やミーティングがある度に参加していました。

これまでにJSAが行ってきた活動には、テラホートにある日系企業の訪問や、日本文化について語り合う「コーヒー・アワー」、日本料理の試食会などがあります。また、ISUの日本語の授業では、ときどき日本人留学生在が会話のパートナーとして手伝いをするということもあるそうです。

JSAの会員には、留学生活に役立つ情報がときどきメールで送られてきます。ローズ・ハルマンには今のところ日本人留学生は私以外いないので、今後のKITの派遣留学生にとって何か困ったときの助けになればよいと思っています。

2. Internship and Co-op Fair

ローズ・ハルマンの学生はインターンシップ制度を利用して一定期間企業で働くことができます。先日その企業の説明会(Internship and Co-op Fair)がありました。

日本ではインターンシップという言葉しかありませんが、こちらではその期間によって呼び方が

違います。夏休みに3ヶ月ほど行われるものを **internship**、時期を問わず4~6ヶ月ほど行われるものを **co-op** と呼ぶそうです。 **co-op** では **internship** のように短期集中型ではなく、数ヶ月ごとに学校と企業を交互に通うパターンが多いそうです。また、他の大学では **co-op** または **internship** に単位を認めているところがあるそうですが、ローズ・ハルマンでは認めていないそうです。

Internship and Co-op Fair は大学の多目的室とその前にあるロビーで行われました。昨年末に体育館で行われた **Career Fair** よりは大規模でしたが、それでも50社ほどが説明を行っていました。会場には企業ごとに机が用意されていますが、説明は「立ち話」のような形式で行われていました。参加していた企業は聞きなれないものがほとんどでしたが、なかにはトヨタやロールスロイスといった企業も参加していました。また、**US Navy, Marine** なども参加していたのには、アメリカらしいと思いました。友達に聞いたところによると、この **Fair** に参加する企業は毎年あまり変わっていないそうです。会場の様子を見てから昼食を食べに食堂に行ったのですが、企業の方が学生と一緒に談笑しながら昼食をとっていました。こうした風景も含めて、アメリカの企業と学生の関係は日本と比べて親密に見えました。

少し話がずれますが、ローズ・ハルマンでは留学生のためのミーティングが時々行われるのですが、毎回必ずといっていいほど話題になるのがアメリカでの就職の話です。私のような短期留学生はごく少数で、ほとんどが4年間修学する学生です。そうした中でグリーンカードの申請や **H1-B** ビザ取得の話などを聞いていると、周囲との「温度差」のようなものを感じてしまいます。今回の **Internship and Co-op Fair** も含めて、違う国の同世代の学生が就職に取り組んでいる姿を見ることは、私にとって非常に刺激的な体験でした。

以上で今月の報告を終わります。